



アクセスポイントでのRFIDトラッキングの最適化

- [アクセスポイントでのRFIDトラッキングの最適化について](#), 1 ページ
- [アクセスポイントでのRFIDトラッキングの最適化 \(GUI\)](#), 2 ページ
- [アクセスポイントでのRFIDトラッキングの最適化 \(CLI\)](#), 2 ページ

アクセスポイントでのRFIDトラッキングの最適化について

RFID タグの監視とロケーション計算を最適化するには、802.11b/g アクセスポイント無線用の 2.4GHz 帯域内で最高4つのチャンネルでトラッキングの最適化を有効化できます。この機能を使用して、通常、タグが動作するようにプログラムされているチャンネル（チャンネル1、6、11など）のみをスキャンすることができます。

コントローラのGUIまたはCLIを使用して、監視モード用アクセスポイントを設定し、このアクセスポイント無線でトラッキングの最適化を有効化できます。

アクセスポイントでのRFIDトラッキングの最適化 (GUI)

- ステップ 1 [Wireless] > [Access Points] > [All APs] の順に選択して、[All APs] ページを開きます。
- ステップ 2 監視モードを有効にするアクセスポイントの名前をクリックします。[All APs > Details for] ページが表示されます。
- ステップ 3 [AP Mode] ドロップダウンリストから [Monitor] を選択します。
- ステップ 4 [Apply] をクリックします。
- ステップ 5 アクセスポイントのリブートする警告が表示されたら、[OK] をクリックします。
- ステップ 6 [Save Configuration] をクリックして、変更を保存します。
- ステップ 7 [Wireless] > [Access Points] > [Radios] > [802.11b/g/n] の順に選択して、[802.11b/g/n Radios] ページを開きます。
- ステップ 8 カーソルを目的のアクセスポイントの青いドロップダウン矢印の上に置いて [Configure] を選択します。[802.11b/g/n Cisco APs > Configure] ページが表示されます。
- ステップ 9 アクセスポイント無線を無効にするには、[Admin Status] ドロップダウンリストから [Disable] を選択し、[Apply] をクリックします。
- ステップ 10 無線でトラッキングの最適化を有効にするには、[Enable Tracking Optimization] ドロップダウンリストから [Enable] を選択します。
- ステップ 11 4つの [Channel] ドロップダウンリストから、RFID タグの監視対象となるチャンネルを選択します。
(注) タグの監視対象となるチャンネルは少なくとも1つ設定する必要があります。
- ステップ 12 [Apply] をクリックします。
- ステップ 13 [Save Configuration] をクリックします。
- ステップ 14 アクセスポイント無線を再び有効にするには、[Admin Status] ドロップダウンリストから [Enable] を選択し、[Apply] をクリックします。
- ステップ 15 [Save Configuration] をクリックします。

アクセスポイントでのRFIDトラッキングの最適化 (CLI)

- ステップ 1 次のコマンドを入力して、監視モード用のアクセスポイントを設定します。
config ap mode monitor Cisco_AP
- ステップ 2 アクセスポイントがリブートされるが操作を続行するかどうかをたずねる警告が表示されたら、**Y** と入力します。
- ステップ 3 次のコマンドを入力して、変更を保存します。

save config

ステップ 4 次のコマンドを入力して、アクセスポイント無線を無効にします。

config 802.11b disable *Cisco_AP*

ステップ 5 次のコマンドを入力して、使用国でサポートされている DCA チャンネルのみをスキャンするようアクセスポイントを設定します。

config ap monitor-mode tracking-opt *Cisco_AP*

(注) スキャンするチャンネルを正確に指定するには、ステップ 6 で、**config ap monitor-mode tracking-opt** *Cisco_AP* コマンドを入力します。

(注) このアクセスポイントのトラッキングの最適化を無効にするには、**config ap monitor-mode no-optimization** *Cisco_AP* コマンドを入力します。

ステップ 6 ステップ 5 のコマンドを入力してからこのコマンドを入力して、アクセスポイントがスキャンする 802.11b チャンネルを 4 つまで選択できます。

config ap monitor-mode 802.11b fast-channel *Cisco_AP channel1 channel2 channel3 channel4*

(注) 米国では、*channel* 変数に 1 から 11 までの任意の値を割り当てられます。その他の国ではさらに多くのチャンネルがサポートされています。少なくともチャンネルを 1 つ割り当てる必要があります。

ステップ 7 次のコマンドを入力して、アクセスポイント無線を再度有効にします。

config 802.11b enable *Cisco_AP*

ステップ 8 次のコマンドを入力して、変更を保存します。

save config

ステップ 9 次のコマンドを入力して、監視モードのアクセスポイントすべての概要を表示します。

show ap monitor-mode summary
